



10月 舟橋会館自主サークル運営教室 ー自分たちの手で築こう 生涯学習の村づくりー

サークル名	実施日	開始時間
楽しいカラオケふなはし歌の会	21(日)・28(日)	18:00
トールペイント教室「アトリエF」	27(土)	19:00
香悦会(書道教室)	2(火)・16(火)	9:30
二八そば好友会	6(土)	13:30
琴友会(大正琴)	12(金)・26(金)	13:30
いろどり倶楽部(絵手紙教室)	20(土)	9:30
はなみずき(パッチワークサークル)	27(土)	13:30
ローズマリー(オカリナ教室)	11(木)・18(木)	13:20
ふなっこ歌の会	22(月)	14:00

■舟橋文化スポーツクラブ「バンドリー」運営教室

教室名	曜日	実施日	開始時間
ヨガ	火	2・16・23・30	10:00
フラダンス教室	水	3・10・24	13:30
ラテンダイエット	木	4・11・18・25	19:15

かがやき教室(会場:舟橋小学校体育館)

実施日	曜日	内容	参加費	開始時間
1	月	ウォーキング		15:00
15	月	ウォーキング		13:30

かがやき教室(会場:舟橋会館)

実施日	曜日	内容	参加費	開始時間
22	月	森永おやつ作り	100円	15:00

※参加費は当日集金いたします。

参加者募集

公民館講座

・土人形の絵付け教室

日時 10月13日(土)

午前10時より

材料費 600円(1個)

来年の干支(いのしし)の絵付けをします。
※定員にまだ余裕があります。参加希望の方は、
10月4日まで、舟橋会館に申し込み下さい。

■舟橋村文化祭の講師決定

日時 11月10日(土)

場所 舟橋会館 ホール

開演 午後2時30分

講師 あまたつ たけし
天達 武史 氏(気象予報士)

演題 『天気の人から見た
異常気象と気象災害への備え』



秋の七草

「秋の七草」の由来は、奈良時代の歌人、山上憶良(やまのうえの おくら)が『万葉集』で歌を詠んだことから、日本の秋を代表する草花として親しまれるようになったとされています。

「春の七草」は、「七草がゆ」にして食べるなど、「食」を楽しむものですが、「秋の七草」は花を「見る」ことを楽しむものです。野生で目にする機会は少なくなりましたが、ぜひ秋の七草を覚え、家に飾るなど秋の草花を楽しんでください。



【萩】(ハギ)

「萩」とは「秋に咲く草」という意味。お彼岸のおはぎは、この萩に由来します。

【尾花】(オバナ)

ススキのこと。草が茂っている様子が「薄(ススキ)」で、穂が出た状態は動物の尾に見立てて「尾花」といいます。

【葛】(クズ)

莖で籠や布を織り、根から採取したでんぷんがくず粉となります。くず粉で作ったのがくず餅。漢方薬の葛根(かっこん)は根を乾燥させたものです。

【撫子】(ナデシコ)

愛児を失った親が、その子の愛した花を形見として撫でたことに由来し、別名「片身花」といいます。日本女性の代名詞「大和撫子」はこの花からきています。

【女郎花】(オミナエシ)

恋に破れて身投げした女の脱ぎ捨てた山吹色の衣が、この黄色い花になったといわれています。全体に大きく白い花が咲くのは「男郎花(オトコエシ)」です。

【藤袴】(フジハカマ)

乾燥させると香りが強く、桜餅のような香りがします。貴族たちは湯に入れたり、衣服や髪につけたりしていたとか。別名「蘭草」「香水蘭」。

【朝貌】(アサガオ)

「朝顔」「木槿(ムクゲ)」「桔梗」「屋顔」など諸説ありますが、一般的には「桔梗(キキョウ)」を指します。

